

122

財団法人 すぎのこ文化振興財団

2011 4/1

事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
 館蔵研修センター：〒357-0063 埼玉県熊谷市熊谷325-2 TEL.042-971-4121 FAX.042-971-4155
 焼酎研修センター：〒377-1611 群馬県吾妻郡嬬恋村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1662

2面・3面 巡回公演日より／口
 蹄疫チャリティー公演を振り返
 って／巡回公演スケジュール／
 すぎのこ保育教材のご案内
 4面 助成事業報告／研修センタ
 ーのご案内 ほか

http://www.suginoko.org/

E-mail: support@suginoko.org



海の六地藏（彦岐のはらほげ地藏）

恐怖の連鎖 東北関東大地震

理事長

小澤 幸雄

☆災害犠牲者への追悼

平成23年3月11日14時46分
 千年周期とも言われるマグニ
 チュード9の大地震が東北地
 方を襲い、その副産物とも言
 える大津波が日本列島を恐怖
 の底に落とし入れた。時を追
 う毎に、日を経る毎に、家も、
 船も、車も、人も、濁流に翻
 弄されるより残酷な映像が報
 じられ、見る者は目を覆った。

今回の震災で列車が転覆し
 た宮城県東松島市新東名の海
 岸から10m・海拔5mの所に
 すぎのこの評議員でもあり、
 NPO法人「創る村」代表の
 飴屋善敏先生が住んでいる。

桁違いの大地震と大津波の
 報道に、電話をしても、携帯
 にかけても、メールを送って
 も一切通じない。インターネ
 ットグーグルの「消息情報」
 に投稿しても全く反応はない。
 しかし、消息情報には同じよ
 うに飴屋先生の安否を気遣う
 方々からの書き込みメッセー
 ジは多々掲載された。

地震10日目にしてようやく
 飴屋先生に連絡がとれ、メン
 バー全員無事との朗報を得た。
 震災1週間前の5日、私も

訪問して4月開設を前に落成
 式を祝ったばかりの介護老人
 ホーム「老葉子（ろうゑいし）（中国の親孝
 行伝説の人）の家」。「1階は
 津波に襲われ玄関ガラス戸は
 壊され壁にヒビが入ったが2
 階は被害を免れた。野蒜海岸
 の方から流されてきた二人の
 夫人をからくも救助したが、
 一人は友人でそのご主人は帰
 らぬ人となった」と言う。

生と死の狭間に、無事の報
 を手放しで喜ぶ事も出来ない
 ほど被災地は悲惨だった。

被災された方々に心からお
 見舞い申し上げると共に、亡
 くなられた方のご冥福とご家
 族の皆様にご心からお悔やみ申
 し上げる次第です。

一次災害大地震、二次災害
 大津波と副産物の方が遙かに
 被害は大きくなっている、そ
 して目に見えない三次災害原
 子力発電所事故は深刻な問題
 となつてのしかかっている。
 最悪のシナリオだけは何とし
 ても防いでもらわなくてはな
 らない。

☆誇りに思える日本人

それにしても被災者の行動
 は立派でそこに日本人本来の
 姿を感じる。阪神・淡
 路大震災の時もそうだった。

人間（私だけでも知れない
 が）寒い時とひどい時ほど
 惨めになることはない。あれ
 だけ悲惨な目に遭って、何日
 も寒さと空腹に耐え、どんな
 に辛い環境に身を置いてもじ
 っとこらえ、涙をためながら

誰のせいにするでもなく我慢
 し、略奪や暴動に走るわけでも
 なく整然とルールを守って
 協力し合う…。その姿と言動
 と行動は崇高なまでに見え心
 に迫ってくる。これが日本人
 本来の姿なのである。

今回の地震では、見舞うべ
 き私が見舞われる身になって
 いた。北海道から九州まで、
 そして中国や韓国とお見舞い
 の電話やメールが届けられ、
 普段忘れかけていた「人」の
 温かさに触れられた出来事でも
 あった。

☆松尾芸能賞表彰延期

すぎのこは3月29日、財団
 法人松尾芸能振興財団より、
 「松尾芸能賞（研修助成賞）」
 を受賞することになっていた。
 しかし今回の大災害によって
 しばし延期される事になった。
 私は、松尾芸能賞は舞台人に
 とって最も権威有る賞と思っ
 ている。それはこの賞が、「舞
 台人の、舞台人による、舞台
 人のための賞」だからである。
 その意味は受賞を得た後に回
 す事にしよう。

贈賞理由は「創立以来46年
 間、どの子にもナマの舞台の
 感動を届けるため活動を続け、
 多くの子ども達に夢と希望を
 与えてきた」と云うものである。

嬉しいこと辛いこと、人生
 には悲喜こもごも有るが、あ
 きらめず、前向きに努力して
 いれば必ず報いられる。明日
 に向かって共に進みたい…。

夢を叶えよう



榎崎 数馬

わたしが人形劇にのせて子どもたちに届けているのは、夢や希望です。……などと構えると少々気恥ずかしい年齢になってまいりました。

暖かな春を迎えると、同じような陽気の頃、すぎのこに初めてきた時のことを思い出します。全国巡回公演に出るようになってから年月も経ち、いろいろな笑顔(ときどき泣き顔)に出会ってきたなかで、強く印象に残っている出来事があります。それは確か、ある市が開催してくださった親子観劇会だったと思います。

上演後、5歳くらいの男の子がお母さんの手を引っ張りながら、後片づけをしているわたしたちのそばへやってきました。そして、ポケットの中からいくつかあめ玉を取り出すと、わたしたちにひとつずつ渡してくれました。そしてポツリと、「今日のお話のお礼にみなさんへ」と言つて、恥ずかしそうに、またお母さんの手を引いて去って行ったのでした。

わたしはそのとき、彼の真心「僕を喜ばせてくれたこの人たちを、僕も喜ばせてあげたい」

というあたたかな思いやりを、あめ玉と一緒に手渡された思いがしました。

やはりわたしは、人形劇に夢や希望を乗せて届けたいと考えているのでしよう。劇をみた子どもたちが、優しくたくましい大人になる夢を。人形たちが見せた思いやりや、勇気ある行動に励まされ、大きな心を育んでいつて欲しいという希望を。

すぎのこの人形劇が伝えたい思いを、これからもたくさんの子どもたちに届けていけるよう頑張ります。



榎本 均

3月のことでした。巡回公演があと数日で終了だという時、メンバーの一人が体調不良でダウンし、代わりにフリーのTさんが公演先へ駆けつけてくれました。

到着早々に、夜遅くまで引き継ぎ稽古。彼女とは、二年ぶりの共演です。

「榎さん、たにし長者って、こんなに重いテーマのお話でしたっけ? 三年もやってますよね? 榎さんは来期もやるんですか?」

「さあ……」

Tちゃんの快活さに少し救わ

れた気持ちでした。

すぎのこ演出のK先生が、

「鬼が出て、お化けが出て、子ども達が泣いたっていいんだよ。」

それが感情の表れの一つなんだから」

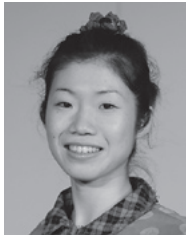
と言っていたのを思い出します。

また、私が大学生の時、教員免許取得のための教育実習で、特別学級にいた一人の女の子がなぜか気になって仕方ありませんでした。ベテランのA先生は、「榎本君、そんなに難しい顔をしちゃダメだよ。彼女は彼女なりに精いっぱい楽しく学んでいるから」

と私に言うてくださったのです。私なりに戸惑ったり、悩んだり、立ち止まってしまった時、その時、その場面を人との交わりで、一つの言葉の風景として私は感じてきました。

それを人形を演ずる者として、子ども達とどう向き合っていくかは、私自身の課題です。

今後、子ども達の成長の芽吹きに出逢うのが楽しみです。



浅野 茜子

「みんなの宝物は何ですか?」

上演の時、こんな問いかけをするという答えが出てくる。ママ、パパ、家族、赤ちゃん、おもちゃ、自転車、ダンス、石、仮面ライダー、歌……。

この間、「お人形さん」と答えた女の子がいた。「お姉さん

もね、子どもの時、お人形さんが宝物だったんだよ」

私がつこりすると、その子はちよつとはにからだ。

幼稚園の頃、早生まれの私には、周りの友達が自分より大人っぽく見えた。人見知りもあって、そんなに友達が多い方ではなかったと思う。そんな私には、人形が大切な友達だった。遊びに行く時も、旅行に行く時も、人形はいつも一緒だった。

寝る時には、自分の両脇にたくさんの人形達を並べて寝た。寝返りは絶対にしちゃいけない。少しでも寝返りをうつと、お人形さんの布団がめくれてしまう。右を向けば左に寝ているお人形さん達が、左を向けば右に寝ているお人形さん達が寂しがる。そう思つて、天井を見つめて眠った。

当時、いたずら盛りの兄は、そんな私をからかった。わざと人形をボールのように投げたりした。「やめて! やめて!」私は泣き叫んだ。「人形にも心があるのよ!!」その一言で兄は私に人形を返してくれた。いつもみそつかすで泣き虫な私なのに、いつもと違う迫力があつたそう

だ。

そう、人形には心がある。あの時の泣きながら叫んだ言葉が、今の自分につながっている。当時は、まさか大人になって人形劇役者になるなんて、夢にも思わなかったけれど。

今の私の宝物は、「人形劇」。そして、「人形劇をみてくれる子ども達のキラキラした笑顔」。私の素敵な宝物はいつも私に、元気をくれる。ずっとずっと

……できたら、おばあちゃんになつても、人形劇をしたい。それが今年26歳になった私の、密かな夢だ。



下村 明

去る2月末から3月初めの8日間、宮崎県下を「かもとりごんべえ」「証城寺の狸ばやし」の二作品で巡回公演をしました。

今回の公演は、昨年の口蹄疫で多くの行事が中止になった宮崎県の保育園児を元気づけようと、東京都民官保育園協会青年部が募金を行い、宮崎県保育連合会青年部に寄付し、「直接子どもたちに還元を……」ということ

の依頼があり実現しました。

それぞれの上演先では、近隣の園から集まった子ども達の笑顔で溢れ、毎回、元気に、楽しんで、観劇してくれました。人形劇を楽しんだ子ども達は、東京の子ども達から届いた励ましのメッセージカードのお礼を、一生懸命に書いていました。

青年部の先生方も、会場にシートをひいたり、暗幕を用意したり、荷物を運ぶのを手伝ってくださいたり、一生懸命でした。さまざまな人たちの想いで実現したこの事業に参加できたことは、私にとって、とても貴重で、幸せな時間でした。

最後に、宮崎県保育連合会青年部会長・玉村敏郎先生はじめ、各会場でお世話になった先生方に、心から感謝いたしました。ありがとうございます。

巡回公演に参加して

松本 環 (フリー)



今回私は、「ねずみの嫁入り」と「ずいてん」という人形劇で、関東地方を巡回させていただきました。チョボクレという日本特有のお囃子で進んで行く芝居に、子ども達の手拍子や笑い声が重なり、楽しみながら演じることができました。

「ずいてん」という作品は、私が初めてすぎのこで九州地方をまわらせていただいた時の作品です。思い入れが大きい作品でもあったので、子ども達の反応はどうなのか、みている方々は受け入れてくれるのか、とても心配でしたが、今も昔も変わらず元気に「後ろ! 後ろ!」「違うよ! 右の仏様だよ」などいろいろな声をかけてくれました。

今回の二作品は、すぎのこの定番と言っても過言ではない作品だと思います。先生方からも「何度見ても楽しめますね!」とお声もいただきました。これからも年齢問わず、長く愛される作品を皆さんにお届けできるよう努力していきたいと思います。これからもよろしく願います。

平成23年度「すぎのこ巡回公演」地域

地 域	1 学期	2 学期	3 学期
北海道	かもとりごんべえ		
東 北		どろぼうのなみだ	
関 東	たにし長者	たにし長者	たにし長者 たのきゅうのうわばみたいじ
信 越	どろぼうのなみだ		
北 陸	どろぼうのなみだ		
東 海			どろぼうのなみだ
近 畿			どろぼうのなみだ
中 国		ねずみの嫁入り	ねずみの嫁入り
四 国		ねずみの嫁入り	ねずみの嫁入り
九 州	ねずみの嫁入り	たのきゅうのうわばみたいじ	どろぼうのなみだ たにし長者
沖 縄		たにし長者	



口蹄疫チャリティー公演を振り返って

宮崎県保育連盟連合会青年部会長 玉村 敏郎

東京からの贈り物、それは、東京都の保育園に通う子どもや保護者、先生たちが集めてくださった義援金と、すぎのこ文化振興財団の人形劇でした。初めての人形劇の事業で不安を抱えたまま、2月21日、宮崎県で最も被害の大きかった川南町からスタートしました。

事務局で内容を進めていたので、下村明さんと原口千恵さんには、この日にはじめてお逢いしました。最初の不安を見事に吹き飛ばしてくれたのが、段取りのよさとお二人の温かさでした。毎日子ども達の笑顔が増えていくのを見て、青年部のメンバーからは達成感のある声で、「会長今日は大成功でした」という言葉が寄せられました。この言葉に毎日励まされたことは、この事業に関わ

ったすべての人たちの出逢いの愛がもたらす、大きな力だったと思います。

「かもとりごんべえ」が伝えるメッセージは、未来の子ども達に「生きる力」をもたらし、鳥インフルエンザや新燃岳の噴火で苦しんでいる人達にも、笑顔を届けてもらいました。出会いの愛に感謝です。

すぎのこの保育教材

保育者のための…人形劇じゃない人形劇

この本は、すぎのこが人形劇をもって全国の幼稚園保育園を巡回公演する中で、人形劇を保育に取り入れている施設の先生達から受けた質問に、保育の場における人形劇の考え方を説いた指導書です。

お金をかけず、時間をかけず、それでいて効果的な人形や舞台、セットの作り方や使い方などを、イラストをふんだんに入れて解りやすく解説した保育者必携の書です。

著者／小澤アキラ 定価：2,000円(税込み)



地球環境を大切にする絵本シリーズ

「とべ! ドードー」など巡回公演でもお馴染みの原作の絵本です。

定価：各1,500円

(税込み)



日常の保育の中に影絵紙芝居を

影絵紙芝居とは、影絵でできた紙芝居です。大きさは一般の紙芝居と同様ですので、手軽に日常の保育の中に影絵の美しさを活用することができます。そんな影絵紙芝居の作り方をていねいに解説したDVDです。

「影絵紙芝居の作り方」DVD

上田順一／監修 定価：3,150円(税込み)



問い合わせ先…03(3984)2396 財団事務局

ほんわか劇場
(一人芝居)

ピーマンのピー君が子ども達にたずねます。「みんなは僕のこと嫌い?」「スキ!」「キライ!」「大好き!」子ども達の元気な、大きな声が会場で響きます。

実は人形のピー君は、このあいだまで資源ゴミの中に埋もれていたペットボトルで

できています。子ども達にとっては、どんなものでも魂が入れば、生きた存在になるのですね。

『ほんわか劇場』終演後、お別れの時、パペットの犬と猫に「大好き」と言ってギュウと抱きしめる子、はにかみながらも握手をする子などをみていると、もうただの人形ではなく、大切な友達になっているのです。

上演を重ねるたびに感じることは、人形を通して大切なことを子どもたちに伝えていける、それは子ども達が大人になっても、きっと心のどこかに残っていきだろうということです。

「♪今一番うれしいこと、あなたにあえたこと♪」の歌で始まる『ほんわか劇場』は、日々子ども達に真剣に向き合っている先生やご父兄の方々に応援したいと思っています。

(和田 宣子)



平成22年度 芸術文化振興基金助成事業



日本芸術文化振興会の助成事業「どろぼうのなみだ」全国巡回公演は、平成22年度の事業を終了致しました。

「どろぼうのなみだ」全国巡回公演助成事業では、人形劇と影絵のコラボレーションによる作品を制作し、商業劇団ではうかがえない全国どこでも、どんな小規模施設でもうかがって、人形劇・影絵劇に親しんでもらいました。未来を担う子ども達の情操と創造性を育むと共に、地域における芸術・文化・児童教育に携わる方々の創造活動への

研修センターのご案内

当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会（現財団法人JKA）の補助により建設された「すぎのこ山荘」と日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ婦恋研修センター」並びに埼玉県に日本宝くじ協会の助成により建設された「すぎのこ飯能研修センター」があります。

いずれの施設も緑ゆたかな自然に恵まれ、大変静かな環境に立地しています。

音楽や演劇等の芸術文化活動はもちろん、どなたでも時間を気にせず、自由にのびのびと、お使いいただける施設です。合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討下さい。（利用



飯能研修センター



婦恋研修センター

人形劇・影絵劇の可能性を示唆する事を理念として、活動を継続してきました。観劇された多くの皆様方から、ご好評をいただきました。

巡回公演	
兵庫県	1回
鳥取県	14回
島根県	25回
岡山県	22回
鳥取県	7日
島根県	13日
岡山県	13日

目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には使用できません。

「婦恋研修センター」は、一年を通じてレジャーや野外活動の拠点としてご活用いただける他、敷地内にはテントサイト（シャワー・トイレ完備の専用洗面棟併設）やバーベキューが楽しめる集会棟、アスレチック、テニスコート等も整備され、多目的

に活用できる施設です。

「すぎのこ飯能研修センター」は、都心から電車で約一時間程度の場所にありながら、閑静で落ち着いた環境に恵まれ、135㎡の多目的フロアの他、研修室、和室、男女更衣室、シャワールーム等も完備しており、様々な研修や芸術文化活動に広くご利用いただける施設です。

各施設の利用可能な日や時間等、詳細につきましては、左記へお問い合わせ下さい。

皆様のご利用を心よりお待ちしております。

婦恋研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/support@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ